

# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第39号

## ななえ古写真物語

VOL. 39

### 幻の瀧

~知られざる景色~

明治末~昭和初期?

東大沼地区



nanae historical  
museum collection

Tomé Water-Fall Onuma in Hokkaido.

瀧の留沼大園公道海北

七飯町は、横津連山に蓄えられた豊富な水のお陰で、水道水のほぼ100パーセントを横津を由来とする伏流水によってまかなわれています。「七飯町は緑豊かな町だ」という言葉をよく耳にしますが、逆に、この緑をしっかりと残さなくては、今のような自然の恩恵を受けることが出来ないのも事実です。

その一方で、大沼の水質改善という、とてもナイーブな問題をかかえているのも確かで、現在、町では北海道や周辺の研究機関、そしてなによりも町民の理解と力添えを頂きながら、一丸となってこの問題を解決しようと、努力しています。

さて、そんな七飯町で「町内で瀧を見たことがありますか?」と問いかけても、「ああ、あの瀧のことね」とすぐに頭に浮かぶ人はあまりいないのではないかと思います。町内には、多くの川が流れ、湧水もあちこちで見ることができます。しかし、瀑布と呼べるような大きな瀧の存在は、皆無に等しいといえます。

今回は、このピチャリを読んでいた方の「活用してくれれば・・・」というご厚意によって、個人収集のコレクションから七飯町内にあった瀧を紹介いたします。

まずは上の写真をご覧ください。瀑布とまではいかないかもしれませんが、切り立った岩の間から、力強く水が落下している様子が見取れます。現在、多くの方に観光していただいている大沼公園の中でも、あまり見られない秘境のような、または、今で言うところのマイナスイオンが満ち溢れている癒しのスポットのような・・・そんな感じのする場所です。

実はこの瀧については、すでにピチャリ第6号において、留ノ湯の温泉宿の紹介と一緒に紹介しているのです。記憶している方もいらっしゃるかと思いますが、これが、あの時文章のみで紹介していた「留ノ瀧」の写真になります。当時は、写真を所有していなかった為、紹介できずに悔やんでいましたが、今回のご厚意により、ようやく望みが叶った形になりました。

七飯町にこんなに立派な瀧があったことに驚く一方で、今では、幻の瀧になってしまったことを残念に思います。明治44年発行の「北海道名勝誌」にも記されていたこの風景を記録で後世に伝えるのも、悲しいかな私たちの役目なのかも知れません。

・・・と、追憶にふける一枚の紹介。



会場は文化センターで

**2日** 夜の博物館の第3回目講座「外国人のみたななえ」を開催しました。この日も、会場を文化センターに変更しての講座でした。

江戸時代から明治時代にかけて七飯町を訪れた外国人5名を紹介し、当時のななえをどのように見ていたか、残された日誌や写真記録などを使って学芸員が解説しました。参加した皆さんは、「ななえ」という町が昔から外国に開かれていたことに驚いている様子でした。



**20日** 今年度、最後のふぁみりーでいみゅーじあむは「つるしびなをつくろう」ということで、針と糸を使って、つるしびなづくりに挑戦しました。

しかし、むずかしいイメージがあったのか参加者は、1家族の3名のみと少々残念な結果になってしまいました。友の会の方々の懇切丁寧な手ほどきもあってか、参加したお子さんたちも針を使ったぬいものをみごとやり遂げました。しかも、上手だったことに一同驚きでした。

参加してくださった親子の方には、少し寂しい思いをさせてすいませんでした。

針と糸を使って……!



わたを中にた(さん)つめます!



結晶、見えた?

**26日** 2月のジュニア探検クラブは「雪に親しむ」と題し、雪の結晶の観察と缶けりアイスづくりに挑戦しました。

まずは、学芸員から天気記号や雪に関する言葉などのお話があり、その後、黒い紙を持ってフィールドで観察開始!! でも、少し暖かかったためか、上手く観察できなかつたようでした。

午後からは、いよいよ缶けりアイスづくりを開始です。牛乳と生クリームをまぜた缶を氷と塩を使ってさらに冷やします。外で缶をけり(転がしていたけど)アイスの完成です。おいしかったかな?



ただ、ひたすらにけるのみ!



おいしー!

## 編集後記 ~tawagoto~

当館の小学生5・6年生向けの事業である「ジュニア探検クラブ」に参加していた子供たちが、先日から続々と「高校合格したよ!」と、うれしい報告をする為に来館してくれている。彼らの少し逞しい姿を見ると、自分がここに勤めた意味が少しずつ確かなものになる様な気がする。そして昨日、ジュニア探検クラブの子供たちが巣立って行った。彼らの吉報を聞くのは3年後、長くて短いこの期間を楽しみながら・・・おめでとう!(やまだひさし)

## 4月の予定

1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月
19	火
20	水
21	木
22	金
23	土 ジュニア探検クラブ
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木 企画展OPEN予定
29	金 昭和の日
30	土

4月の休館日はありません。

## 追記……

3月11日、午後2時46分。私自身、あれほどまでに長い間揺れ続ける地震を体験したのは初めてだった。その後、ニュースなどでみる被害の様子を見て、私には被災地に対して何故かはわからないが「頑張る」という文字を書けないと思った。そして、心ばかりの支援しか出来ないことを辛く思った。(Y)

**Richard** ~ピチャリ~  
第39号

平成23年3月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp